

千年の森便り No.254

2025.2.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

2月16日（日）天候 曇り

朝のうちは怪しいお天気でしたが、集合場所に到着してからは曇り空となり雨に降られることなく2月の活動を行うことができました。

今回は、前回に続き植生保護柵の設置、コナラ伐採地の一部刈り払い、樹名板の設置、ナラ枯れ枯死木の伐採、植物観察などを行いました。参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、坂本、清水、竹下、成沢、福島、村野の会員10名でした。



樹名板を持って集合写真

次回、3月16日（日）の活動日は、ニホンジカ生息状況調査と危険木伐採を実施する予定です。花は、マメザクラ、コショウノキ、ヒメフタバラン、スハマソウなどが見られる時期です。**体験参加大歓迎です！**（福島）

○植生保護柵の設置（続き）

1月の設置作業は、途中から雨が降ってきて外周のネットを張ったところで中断していたため、今回も鶴沢さんの指導のもと、残っていた出入口の取り付けを行い設置作業を完了しました。

今回設置した植生保護柵は、基本的な構造はこれまでと同じで、2m間隔で打ち込んだ支柱に獣害防止用のネットを張るというものです。この植生保護柵は、ニホンジカやキョンに対しての効果は見込めるものの、この1~2年で島に出没するようになったイノシシに対しては強度が不足していると思われる、最近ではあちこちに穴を開けられている状況です。イノシシが穴を開けると、そこからニホンジカやキョンが侵入して食害が発生するため、今後は植生保護柵の構造についても検討していく必要があります。（福島）



植生保護柵の出入口の設置

○コナラ伐採地の管理

コナラ伐採地は豊英島で唯一無二の場所となっています。かつては、この島全体が大きく成長した樹木に覆われていて林床に届く光はわずかでした。この伐採地には、小さな草本類が多数ありチョウをはじめ多くの昆虫が見られます。人工的につくられたギャップは、当初の目的を十二分に果たしたように思います。最近では灌木等が大きく茂り、よく見られていた春先のチゴユリ、秋の野菊の類が少なくなってきたように思います。（数量調査はしていません。感覚的なものです。）この植物たちの生存を維持するためにも伐開は必要な作業です。伐採地の草地予定範囲を参加者全員（刈り払い機1台、手鎌等）で刈り取り除去しました。そのところは穏やかな日差しに包まれていて、心地よい汗をかくことができました。

樹名板については、あらかじめ選定し目印を付けた木に設置しました。また、樹名板を設置したコナラにはカミキリムシと思われる食害が見つかりました。健全なコナラに樹名板を移動する必要があります。そのほかの樹名板も間違った木に設置した可能性があるため、春以降、若葉の出揃った後に、見栄え等を考慮し配置を変えた

と思います。

今回、樹名板を作成するにあたり 24 種類の樹木をピックアップしました。選定にあたっては、見栄えのするもの、この付近ではなかなか出会えないもの、美しい花や実をつけるものとしてアカマツ、イタヤカエデ、エンコウカエデ(イタヤカエデの変種)、コナラ、クリ、マメザクラ、コバノガマズミ、ヤマコウバシ、コウヤボウキ、ナガバノコウヤボウキ、ムラサキシキブ、ヤマハギ、キハギ、ヤマブキ、ヤマツツジ、ウグイスカグラ、ヒイラギ、メギ、オケラ、ヒサカキ、クロモジ、アラカシ、ツクバネウツギとしました。間伐材を利用した樹名板の出来栄は上々です。中にはイラスト入りの力作もありました。樹名板をもっと増やしたいとの声もあります。発案者の今後に期待したいと思います。(秋元)



草地の植生維持のための刈り払い



刈り払い完了



樹名板の設置

○ナラ枯れ枯死木の伐採

道沿いの 5 本を伐採しました。今回は 2 名での作業となったため、掛かり木になりそうなものは対象外にして比較的容易に伐採できそうなものを伐採対象としました。枯れ木のため、チェーンソーマンはもちろんのこと、もう 1 人も作業中の落枝を警戒し、伐採木の上部を注視するなど安全面に気を配りながら作業しました。

今回も怪我なく作業を完了しました。次回以降も引き続き、ナラ枯れ枯死木の伐採作業に取り組む予定です。(成沢、竹下)



ナラ枯れ枯死木の伐採



追いづる切り



伐採木の処理

○メジロのつめ跡

吊橋近くにヤブツバキの花が咲いていたので、撮影しましたが花に黒い傷跡のような滲みが目立ちます。これでは折角の花が台無しです。汚れの無い花を探しても、どれにも同様な傷があります。

数日前に吹き荒れた大風で葉や枝が擦れて傷付いたと思われるのですが、連日無風続きであっても撮影のため無傷の花を探すと殆ど見当たらないものです。

実はメジロが蜜を吸う時、花卉に爪を立てて止まり足場になっているからです。昭和の森と泉自然公園で撮影した犯行現場の写真を見て下さい。



傷ついたヤブツバキの花



昭和の森



泉自然公園



サザンカにはホバリング

花卉の下半分に止まるので、上半分には傷がありません。また、サザンカは花が散りやすく、足場にならないのでホバリングして蜜を吸うようです。(坂本)



コショウノキのつぼみ



オニシバリ



オオカモメヅルの袋果 (夏に撮影した花)



アセビ



ミヤマシキミのつぼみ



シュンランのつぼみ



クロモジの新芽とつぼみ

○センサーカメラの動物たち

今回は、12月8日から2月16日までの71日間の記録です。いつも記録が多いCAM1は、途中で電池が切れたようで最初の3日間の記録だけでした。3日間ともキョンが撮影されており、最大頭数は2頭でした。CAM2は、キョン、ハクビシン、イノシシ、ヤマガラが撮影されていました。CAM3は記録がありませんでした。今回も、ニホンジカについては記録がありませんでした。同時に記録された最大頭数は、キョン3頭(CAM2)、ハクビシン、イノシシ、ヤマガラが各1頭(羽)でした。

CAM3については、このところ記録が少ないので設置位置をホテイ岬の中央付近に移設しました。(福島)

- ・ 設置期間：12月8日～2月16日(71日間)
- ・ 設置場所：CAM1(つり橋着岸点付近)、CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬先端付近)
- ・ 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1 キョン3日(記録は3日間のみ)

CAM2 キョン21日、ハクビシン4日、イノシシ3日、ヤマガラ1日

CAM3 なし

お知らせ

○次回の定例活動は**3月16日（日）**です。

今年度最後の活動日になります。ニホンジカ生息状況調査と危険木伐採を実施する予定です。早春の豊英島で森の空気を吸ってひと汗かきましょう。ご参加をよろしくお願いします。

島に入る際は、ダニ対策とヘルメット着用を忘れずに！